

2024 年度「これからの大学を支える若手職員研修会」開催の結果報告

2024 年 7 月 8 日

6 月 20 日（木）、21 日（金）に国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、対面・オンライン併用で開催しました。（対面式は 4 年ぶり）

全国の国私立大学等から 106 名の教職員の参加がありました。

講義 1 の津田塾大学の高橋裕子学長から「大学改革と職員の役割」について、①「大学職員」という用語、②「教職協働」という言葉、③「事務職」という言葉、④津田塾大学の風景についての講義が行われた。引き続き「大学アドミニストレーターになりますか？」等のテーマでグループワークが行われその成果が発表され、高橋学長からは適切なコメントが行われた。

講義 2 の東京大学の両角亜希子教授から「これからの時代の大学」について、①大学をめぐる状況と高等教育政策、②AI 時代の大学教育、③各大学はどうありたいかについて講義が行われた。参加者には予め事前課題について考えてきた点についてグループワークが行われ、議論された内容について発表され、両角教授から大所高所からのアドバイスが行われた。

講義 3 の東京都立大学の宮林常崇理系管理課長から「大学教育を取り巻く業務の基礎知識」について、①大学業務に役立つフレームワーク、②法規や学内規則の体系等について、具体的な法令等に基づく解説とその趣旨の講義が行われた。また個人ワークとグループワークは課題ごとに行われ、そのワークについて詳細な説明がなされた。

講義 4 の桜美林学園の大槻達也理事長から「大学の歴史を鳥瞰する」について、①なぜ高等教育史を学ぶのか、②近代高等教育システムの形成と発展について、③学制改革と高等教育の普及、多様化について資料を明示し講義が行われた。予め事前課題が示され参加者が考えてきた事柄について、グループワークで大学間の特徴を比較し、その対応策が話し合われ、その結論を発表した。大槻理事長からは各種の助言等が行われた。

4 講師とも講義のほか、グループワークにより受講者に具体的に考えさせ、他大学の参加者との意見交換を進める中でワークの大切さや、その対応に当たったの留意点など、現場での対応において参考になる研修会となった。

このほかにスチューデントコンサルタント認定者による体験報告を、明星大学 小下健彦さんから行っていただきました。

なお 4 年ぶりの対面開催となったので初日の講義終了後に任意参加の情報交換会を、二日目の講義終了後に対面・オンラインの各グループ別懇談会を実施した。

また本研修は、厚生労働省人材開発支援助成金「人材育成支援コース」対応型の研修会とさせていただきます。